

学校で学んだことを活かしながら知識と経験を増やしていきたい

Y. I.

中央大学 理工学部 物理学科 進学
東海村立 東海中学校 卒業

<学習面で思ったこと>

①授業が英語では高校2年の時からレベル別に分かれていて、数学では高校3年から分かれている。②高校3年から一貫生が同じクラスに入るが、科目によって同じ教室で受けたり、一貫生と高入生が同

じ時間に違う先生が違う教室で教えたりしている。③自習室がある。④充実した課外授業によって自分が受けたレベルの課外が取れるのが長期休みにある。⑤私立高校なので、先生の入替えがなく、ある学年で気に入った先生がいたら、先生もフレンドリーに話してくれて、違う学年になって勉強でわからない場所があっても教えてくれる。それ以外でも進学やそれ以外のことなど何でも聞いて親身になってくれる。⑥進学で悩んでいても、親身に最後納得がいくまで担任の先生との二者面談や親と担任の先生の三者面談で話を聞いてくれる。⑦高校3年の冬休みが終わった直後から自由登校になり、受けた大学のレベルによって課外が取れ、また学校に来ないで家や自習室など自分が勉強しやすい環境でじっくりと自主学習ができる。

<3年間の思い出>※高校3年間、水泳部に所属していました。

①水中練習の時は週3日(月・木・土)で、春と夏のみで夏にかけて距離が徐々に伸びていく。陸上練習

の時は週2日(月・木)で秋と冬に行っている。②どの高校生の練習日も6時間授業や土曜日は4時間授業の日の放課後で最大で2時間までなので夜が遅くならない。③女子部員が男子部員に比べて少ないが先輩後輩関係なく皆仲がいい。④大会の時、大会の準備や片付けを他の学校と協力する。⑤大会の会場までのバスが茨高などから出ている。⑥大会で茨高の選手が泳いでいたらみんなで応援する。⑦こちらの事情に合わせて休められ、休んだ分は中学生と一緒に時間に泳ぐことができる。

⑧高校生の練習量では足りない時でも、中学生と一緒に時間に泳ぐことができる。

<茨高の良いところ>

①高入生はほとんど同じような入試を経験していて、同じような勉強の出来具合なので、話が合う。②定期テストで教科別の校内順位や偏差値が出るので自分の苦手な分野がすぐ分かる。③校外模試が定期的にあるため、全国レベルでの自分の立ち位置が分かる。④クラスマッチや文化祭、マラソン大会、遠足などの様々なイベントでクラスの中が深まりやすい。⑤研修旅行はコロナの影響により京都・奈良になったが、本当はホームステイで海外に行くことができる。⑥部活動の人は一貫生でも関係なく仲良くなりやすい。⑦体育の時は、3クラスほど合同で行うため他のクラスの人とも仲良くなりやすい。⑧図書館の本の数も充実していて授業で使うときや本を借りるときにも欲しい本がすぐ見つかる。⑨学食が安く、量が多いため満足感もある。⑩先生方が選別したテキストを繰り返して完璧にしていだけでも大学進学に大きな武器になる。

<大学進学後と将来の抱負>

大学に進学後は「宇宙物理」を中心に勉強し、将来、宇宙関係の仕事に就きたいと思っています。高校のサイエンス研修で小笠原諸島に行ったという貴重な経験をしました。自然の大切さや保護の難しさを学びました。その学んだことを活かせるように興味を追求したいです。また、学校で学んだことも活かしながら知識と経験を増やしていきたいと思います。